

「市場の活性化を考える会 議論のまとめ ～市場の未来をつなぐ～」 概要

I 本会における議論の取りまとめに当たって

- ・ 自由闊達な議論を交わし、市場の活性化のための新たな知見を目指し、検討結果を7つの課題として提起
- ・ 「食を通じた都民生活の幸せ」の実現に向けて、卸売市場がその一翼を担う重要な一機構であるという共通認識の下で議論
- ・ 市場経営には、社会的責任への強い自覚と、変化に対応する柔軟性と創造性が必要
- ・ 都はもとより、他の地方公共団体、市場業者、さらには出荷者や買手などの市場利用者にとって今後の市場のあり方を考える素材となることを期待

II 戦略的な市場経営に向けて取り組むべき諸課題

1 生鮮食料品等流通の基幹的インフラとしての機能強化

- ・ 中央卸売市場は、従来から生鮮食料品等流通の集分荷・品揃え機能、価格形成機能、代金決済機能、情報機能などの重要な機能を果たしており、今後も継続してそれらの機能を果たしていくことが必要
- ・ 中央卸売市場は基幹的インフラであることから、継続性（コンティニューイティ）の確保が重要であり、機能を維持しうる頑健性や、冗長性（リダンダンシー）、回復力（レジリエンス）を備えることが必要

2 市場取引の活性化に向けた取組の強化

- ・ 商流・物流基盤の強化、リアルとネットの両面への対応、商流・物流基盤の強化に向けての公的支援の課題、市場のブランディング など

3 ネットワーク視点に立った各市場の役割の明確化

- ・ 市場全体がネットワークとして機能し、最大限の役割を果たしていくことが重要
- ・ 東京の卸売市場流通全体に求められる機能を全体最適の視点から再定義し、各市場がその特性・個性を發揮しながら分担
- ・ 役割・機能からみた市場類型の例示

4 市場施設の計画的な維持更新

- ・ 市場全体のアセットマネジメントの観点から、メリハリのついた市場施設の維持更新計画を策定し、着実に取り組む必要

5 サステナブル経営の推進

- ・ 地域社会の一員として持続可能な社会の実現を目指すサステナブル経営の推進
- ・ グリーンリカバリー、地域社会との共生、働き方改革・ダイバーシティの推進など

6 民間経営手法の活用可能性の検討

- ・ 中長期的な視点に立って、いかにして市場の活性化を図るか、そのための最適な手法とは何かという観点から、ネットワーク全体の中で各市場が果たすべき役割や機能などを踏まえ、民間経営手法の活用可能性について検討を行う必要

7 強固な財務基盤の確保

- ・ 卸売市場が基幹的インフラとしての役割を着実に果たしていくため、余裕を持ったストックベースの財務基盤が必要